

## 〇せっかく取ったのに、どうして…

～地域探求Ⅱ ゲーム開発～



地域創造系3年生は、鳥取大武田先生のご指導で、ものしり博士を活用した教材開発としてゲームを制作してきました。9月30日(水)7限、村岡小学校学童保育の児童たちに、制作したゲームを実際に体験してもらいました。低学年、中学年、高学年と3つのグループに分け、それぞれ「ものしり博士かるた」、「鮎(あゆ)の人生ゲーム」、「ヴィレ盤」というゲームを行いました。これまで、本校生が練りに練って制作してきたゲームに子どもたちは興味津々、前のめりになっています。ゲームを実際に体験してもらいながら説明をすすめました。字が読めなかったり、クイズが難しかったり、せっかくとったカードを隣に渡さなくてはならないルールに泣き出したり、ハプニングもたくさんありましたが、今回の体験をもとにさらに改良が進みます。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

## 〇紙漉き体験を通してふるさとの知る

～紙漉き班～



10月2日(金)総合的な探究の時間において、民芸班紙漉きグループは、ふるさと教育の一環として実施される射添小学校5年生10名の紙漉き体験のスタッフとして指導をお手伝いしました。村岡区長須の「紙処ながす」の本多先生にご指導を受け、射添紙で「和雲(わく)」を制作しました。

暗闇に浮かび上がる「和雲」、伝統が一つの形になって人々の心に残り、伝わり、守っていく。一生懸命取り組む子どもたちにやさしく、丁寧に教える生徒たちでした。大切にしたいふるさとの伝統です。

ご協力いただいた本多様、射添小学校の皆さん、ありがとうございました。

和雲 →

